

1. 川西市の重点方針
<p>第5次総合計画のめざす都市像である「であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」を実現するため、第5次総合計画前期基本計画に掲げる次の5点に重点を置いて施策展開を図ります。</p> <p>元気な都市再生プロジェクト 豊かな水と緑共生プロジェクト こころ豊かな子ども育成プロジェクト いきいき健康・長寿プロジェクト 川西の魅力発見・発信プロジェクト</p>

2. 教育振興部のサービス対象者		
〔対象者〕	〔現在の要求・期待〕	〔将来変化〕
幼児・児童・生徒	自他の存在が認められる喜びや学習内容が理解できる喜び、仲間とともに学ぶ喜びを味わうことができる楽しい学校生活	自己実現 社会参画の意欲
保護者	子どもたちに確かな学力・豊かな心・健全な身体を育む学校園教育に対する信頼	自他の子どもの成長を支援する活動意欲の向上
社会教育を活用する市民	自身の興味に基づく発見や文化・歴史・自然等を学ぶ生涯学習の機会提供	新たな社会の創造に向けた活動機会の提供

3. 教育振興部を取り巻く経営環境
<p>・経済のグローバル化や少子高齢化社会への変化に対応する、「自ら学び続ける力」の育成が求められる社会。</p> <p>・生活環境や文化・経済格差を背景とした学力格差の広がりが、</p> <p>・学習指導要領で求められている子どもたちの「生きる力」の育成、</p> <p>・きめ細やかな学習指導等の「学びの個別化」や共に学びあう「学びの協同化」を追求する学習形態への対応</p> <p>・ベテラン教職員の大量退職と若手教職員の急激な増加に伴う「教員の資質向上」と「学校文化の伝承」、</p> <p>・いじめや不登校など、閉鎖的な学校集団で発生しやすい生徒指導上の課題、</p> <p>・特別支援を要する園児児童生徒へのきめ細やかな対応とインクルーシブ教育の理念に基づく施策の実施。</p> <p>・保護者や子どもの個別ニーズの多様化とその対応の困難性、</p> <p>・家庭・地域の教育力への対応を基盤とした管理職の中・長期的な学校経営戦略の育成、</p> <p>・少子高齢化を背景とした園児・児童・生徒数の減少に対応したダウンサイジング施策の実施、</p> <p>・就学前児童の教育と保育を一体化することも園の対応と公立幼稚園の適正配置、</p> <p>・生涯学習の高い意欲を持った団塊世代の市民の学習の場としてのまなび支援室の活用と地域貢献・ボランティア意識の醸成、</p> <p>・天然記念物を含む市の文化財、自然環境の保存・継承とそれらを活用した街づくり、</p>

4. 教育振興部がめざす姿
<p>「地域と人の輪がつくる教育の推進」を基本理念とし、</p> <p>地域に根ざした教育の推進 未来を切り拓き、強く生き抜く力の育成 互いの存在を認め合い、共に生きる態度の育成 参画と協働を支える社会教育の推進 質の高い安全で安心できる教育環境の整備</p> <p>の5つの基本方針に取り組むことにより、</p> <p>「夢に向かい 志をもって未来を切り拓く人」 「ふるさと川西に誇りをもち地域や文化、自然とともに生きる人」 「生命と人権を尊重し思いやりと規範意識をもった人」 「自ら学び 考え 社会の発展に貢献する人」</p> <p>の4つのめざす人間像を実現するため、未来を見据えた創造性と課題に対する迅速な機動力を持った組織</p>

5. 教育振興部の現状		
(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
<p>主体的に学ぶ力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園を中心とした子どもや教職員、保護者・地域の学ぶ意欲の醸成 ・互いを理解し共に学び合う集団としての基盤づくり ・教職員の資質向上のための研修の充実 ・安心・安全に充実した学びが推進できる環境づくり ・心豊かで健康な子どもの育成 ・生きる力を育む体験活動の充実 ・自他の命を大切に、共生の心を育てる教育の充実 ・ふるさと川西の未来を担う子どもたちを育むネットワークづくり ・中学校区を中心とした学校園の連携による共通実践の推進 ・地域の人材や環境を活かした学習活動の推進とボランティアの活用 ・連合PTAをはじめとした関係諸団体との連携 ・ひとくく学べるための教育支援 ・教育機会の均等を推進するための就学支援の充実 ・特別支援教育に係る就園・就学指導と介助員・生活指導相談員の配置による学習支援 ・教育相談体制の充実 ・食育や保健安全を通じた健康づくりの充実 ・学校給食をはじめとする食育の充実と安全衛生管理の徹底 ・自ら健康づくりに取り組む健康教育・安全教育の推進 ・充実した学びを推進する計画的・効果的な教育環境の整備 ・学校園施設の耐震化工事等の実施 ・学校図書館の整備・連携や外国語活動等の環境整備 ・市民の学ぶ意欲を高める支援 ・まなび支援室、中央図書館の機能充実 ・社会教育施設・人材と学校教育の連携の推進 ・ふるさと川西の文化と歴史の継承 ・加茂遺跡・郷土館・文化財資料館等の活用 	<p>教育職と行政職が機能的に融合することによって、多角的に成果や課題を捉え、より柔軟で実効的な発想を生み出す組織である。</p> <p>市内各地域に関連学習施設(幼稚園・小学校・中学校・公民館・図書館等)を有し、地域の人材や文化・環境を活用した経営を進めることができる。より長期的な視点に立って教育を捉えることができる。</p> <p>学校・幼稚園の自己評価、関係者評価の他、課題に応じた各種アンケート等による検証サイクルを有している。</p> <p>学校園教育における子どもたちの豊かな学びを支援し育成することが将来の川西を創る人材の育成や生涯学習の基盤づくりとなっていると同時に、社会教育を通して生涯学習に努める人材の育成が学校園教育における学びの充実と直結するなど、学校教育と社会教育の連携によって、より充実した生涯学習の循環に繋げることができる。</p> <p>まなび支援室において多くの講座を開催するとともに、講座受講者が新たな学びの指導者として学習機会の広がりや深化を促すなど、市民の参画と協働を支援する学習機会を提供する体制が整っている。</p>	<p>市民の満足に向けて</p> <p>信頼される学校園となるため、日常的教育活動を充実・安定に努め、個々の園児児童生徒及び保護者のニーズに応え、安心して学べる学習環境づくりを推進するなど、安定した学校運営を継続する必要がある。教職員の急激な世代交代を受けて、教育活動の目的を明確にし、より効果的な手法等の伝承に努めるとともに、若手教員を中心とした教職員の資質及び指導力の向上を図る必要がある。子どもたちの学習習慣の定着や家庭・地域の教育力の向上を図るため、「きんたくん学びの道場」や学校支援地域本部事業・学生ボランティア等の支援体制の拡充が必要である。5年後10年後の社会環境を予測しながら、学校施設・社会教育施設の整備・耐震化及び機能の高度化や幼稚園の再配置プラン、中学校給食プラン等の策定を推進する必要がある。社会教育の成果をまちづくりに活かす実践機会の拡充が求められている。</p> <p>組織体質の改善に向けて</p> <p>全職員が日常業務の中で課題発見と改善のための施策を提案するボトムアップの体制を強化するとともに、将来を見据えた川西の教育についての方向性を共有化する意識が必要である。教職員が学び続ける意欲の向上と体制の確立に努めるなど、研修体制の強化を図る必要がある。社会教育と学校教育が有機的に連携し、広範にわたる教育活動を円滑に推進するために、それぞれの事業について各課各室との連携・交流をより強化するとともに、早い段階からの他部署との協議等の連携強化に努める必要がある。社会教育施設の充実と系統的・継続的な事業の充実や推進のために、社会教育主事や学芸員の配置と育成に取り組む必要がある。</p>

6. 教育振興部の重点目標
<p>(1) 市民満足の向上に向けて</p> <p>学校園評価の項目を焦点化して集約し、児童・生徒及び保護者のニーズを把握するとともに、市内小中学校の学習状況調査等を分析することで、事業施策の成果と課題を整理し、必要施策の検討を図る。</p> <p>施策の進捗状況や情報交流のための適切な情報発信に努め、市民の生涯学習への意識向上の啓発に努める。</p>
<p>(2) 組織体質の改善に向けて</p> <p>業務内容の成果と課題を明確にし、その課題改善に向けた具体的な取り組みをボトムアップで事業立案できるよう、部内の活性化を図る。</p> <p>必要に応じて課長会議・室長会議を開催して、部内の事業の共通理解と連携を深めるとともに、会議や打ち合わせの目的と決定事項を整理し、タイムスケジュールを明確にした事業展開を行う。</p> <p>校長会議や園長会、教頭会での指導伝達を実効的なものにし、成果や課題を共有するための協議会の充実に努める。</p>

7. 教育振興部の目標							
指 標		H24実績	H25実績	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
施策評価指標	学習内容を理解していると感じている児童の割合(小6)	80.3%	77.2%	85.0%			85.0%
	学習内容を理解していると感じている生徒の割合(中3)	63.7%	68.9%	68.0%			68.0%
	学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(小学生)	H24は実施せず	85.1%	85.0%			85.0%
	学校に行くことが楽しいと感じている子どもの割合(中学生)	"	80.9%	80.0%			80.0%
	いじめを受けたことがある子どもの割合(小学生)	"	現在集計中	28.0%			20.0%
	いじめを受けたことがある子どもの割合(中学生)	"	現在集計中	13.0%			5.0%
	住んでいる地域の学校の様子を知っている市民の割合	32.6%	現在集計中	35.0%			35.0%
	保護者や地域の声が学校運営に反映されていると感じている市民の割合	16.8%	現在集計中	20.0%			20.0%
	特別支援教育の充実度	29.7%	48.2%	80.0%			100.0%
	不登校児童・生徒の割合	1.1%	1.5%	1.2%			0.7%
	小学生肥満児出現率	5.0%	7.0%	5.0%			5.0%
	朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(小6)	96.3%	96.5%	100.0%			100.0%
	朝ごはんを必ず食べる子どもの割合(中3)	93.0%	93.3%	100.0%			100.0%
	学校・園施設の耐震化率	79.7%	88.1%	92.4%			100.0%
	子どもをまもる110番のおうち軒数	2,082件	2,053件	2,100件			2,200件
生涯学習の条件が整備されていると感じている市民の割合	19.3%	19.1%	20.0%			23.0%	
過去1年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合	32.3%	37.0%	39.0%			45.0%	
川西の歴史に興味がある市民の割合	63.5%	64.2%	65.8%			70.0%	
市民満足向上目標	教育広報紙「川西きょうい」, ホームページ, 教育委員会事務局だより「教育だより かわにし」等による教育施策やHPに直結した内容の充実と時宜にかなった適切な発信に努め、市民・保護者・子どもたちのニーズに応える。	44回	44回	44回			44回
組織体質改善に向けた指標	室長級職員対象の教育推進会議はもとより、課長級職員まで対象とした拡大教育推進会議を随時開催し、進捗状況の把握と情報の共有を行い、より良い集団思考によって、部の実行力を高める。	12回	12回	12回			12回
	事業を達成するためのタイムスケジュールを明確にし、「報告・連絡・相談」をより円滑により実効的にするための職場ミーティングを実施する。	毎日実施	毎日実施	毎日実施			毎日実施